



交通安全市民会議 ニュース



愛知県内

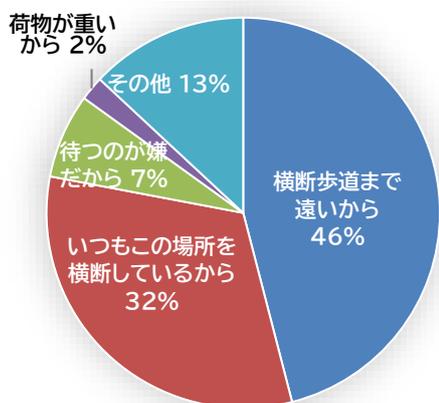
高齢者の道路横断中の交通事故が多発しています！

愛知県内で令和6年1月から7月までの人身事故で亡くなった人は76人、そのうち歩行者は4割の32人でした。亡くなった歩行者のうち高齢者は25人と歩行者死者の約8割を占めています。

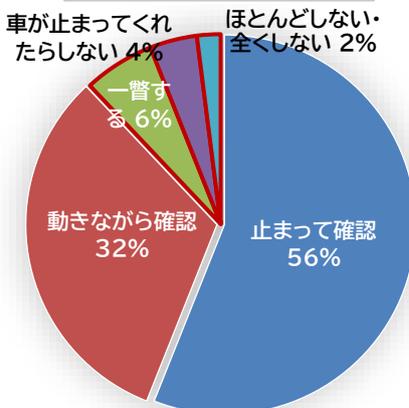
【横断歩道以外を横断する高齢者を対象に意識調査を実施】

愛知県警は、令和6年6月～7月にかけて、設楽、田原、中部空港署をのぞく県内42署管内の中央分離帯や中央線がある道路の横断歩道から50メートル以内の場所で、620人の高齢者に意識調査を行いました。

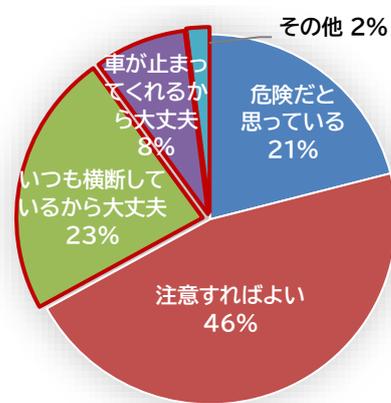
横断歩道を利用しない理由は？



安全確認の方法は？



横断時の危険性の認識は？



横断歩道以外を横断する高齢者の実態

上記の結果から、横断時に

- しっかりと安全確認をしない …1割強
- 横断時の危険性を感じていない…3割強の方がいることがわかりました。

高齢者の行動特性

- 歩行速度がゆっくりになり成人男性の約3分の2程度に低下する（1秒で1m程度）
- 認知判断能力が低下する
視野が狭くなり、周辺の状況を読み取る機能が低下
車の速度や車との距離を見誤るリスクが増加

高齢者の実態と行動特性から、高齢者が横断歩道以外を横断する場合、自動車等と衝突する危険性が高いことがわかります。このほかにも「横断禁止場所の横断」、「信号無視」、「斜め横断」、車両の「直前直後の横断」などの乱横断は非常に危険です。

「道路を横断する時は」

- 近くの横断歩道を利用しましょう。
- 横断前は必ず左右の安全確認をしましょう。
- 横断歩道利用中も、通行車両に注意しましょう。

「ドライバーの方へ」

- ◆ 運転中に歩行者を見かけたら、その動きに注意を払い、スピードを落として走行しましょう。
- ◆ 横断歩道では、歩行者優先を徹底しましょう。